

A large red graphic frame on a blue background. The frame consists of a vertical bar on the left, a horizontal bar at the top, and a horizontal bar at the bottom. A semi-circular shape is attached to the right side of the bottom horizontal bar. The text is placed within these sections.

*Harmonica
Concert*

*Meiji
Univ
79th*



部長
北島 忠男

今年も秋の定期演奏会を迎えることになりました。去年の秋は、大学紛争の直後で、大学祭も開かれず、ソサエティの練習にも大変苦勞しましたが、今年は、例年通り大学祭ももたれ、ソサエティも教室を使って一応練習することができました。しかし、大学はまだ正常の状態にはなく、学生会館は閉鎖されたままです。一日も早く、学生本来の自治活動が軌道にのり、その一環としてのソサエティの活動も順調に行なわれることを、心から望んでおります。

ハーモニカ・ソサエティは、今年は春の定期演奏会を中止して、この秋の演奏会に全力を集中しました。30名近い新部員の諸君は落伍者もなく、練習や合宿や地方公演に腕をみがいて、本日を迎えました。年々歳々ソサエティを囲む諸環境は流動し変化して行きますが、明大ハーモニカ・ソサエティは常に新しい装いのなかに学生音楽団体としての誇りと情熱をもって、活動を拡大してきております。

本日ここにご来場いただきました皆様におかれましても、ソサエティの発展のため、暖かいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。この秋のひと夜が、ハーモニカ演奏によって、皆様の憩のひとときとなりえますよう、心から念じております。



顧問
林 久吉

明治大学ハーモニカ・ソサエティは、大正7年呱呱の声をあげた楽団でありまして、おそらく、学生楽団として結成された最も古い歴史をもつもの一つではないかと思われる次第であります。私は明治大学ハーモニカ・ソサエティが昨年、楽団結成50年の歴史を記念するため、記念大演奏会を当館において開催し、多数の方々のご来場をかたじけなくしたことは、半世紀の歴史を聞いたわがハーモニカ・ソサエティが、次の半世紀の勇躍、大発展を期待する決意を表明した演奏会であったことと確信するものであります。

本日の演奏会は、この意味で、次の半世紀の先頭を飾る極めて重要な演奏会であることにご留意の上ご鑑賞下さいますようお願い申し上げます。

ご来場の皆様、今後も従来のごとくハーモニカ・ソサエティにご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。
(前部長)

今日、明治大学ハーモニカ・ソサエティがここ共立講堂において第79回定期演奏会を開催されますことを、われわれ立教大学ハーモニカ・ソサエティ部員一同心よりお慶び申し上げます。

一年間のしめくくりとしての定期演奏会であることでもありますし、必ずや満足のいく演奏を聞くことが出来るものと期待しております。昨年ほどの紛争も今年は起こらずに、クラブ活動も思う存分出来たことでしょう。

皆様の御来場に感謝すると共に、今宵の演奏会が成功裡に終わられることを心からお祈りしてお祝いの言葉とさせていただきます。

立教大学ハーモニカ・ソサエティ

おめでとう。第79回定期演奏会！ 私たちと同様、リード音楽と取り組む学生バンドの最古参と目される明治大学ハーモニカ・ソサエティが今日79回目の定期演奏会を迎えられたことを本当にすばらしいことと思います。最もポピュラーなハーモニカという楽器を中心に用いながら、ちょっと忘れられた感さえあるハーモニカ音楽、リード音楽を“時”とマッチしたものにして演奏し研究されているところに、明大ハモ・ソの大きな意義があるように思います。

今後の明大ハモ・ソの飛躍的發展を期待すると共にライバル意識に燃えるものです。

今宵の成功を祈ります。

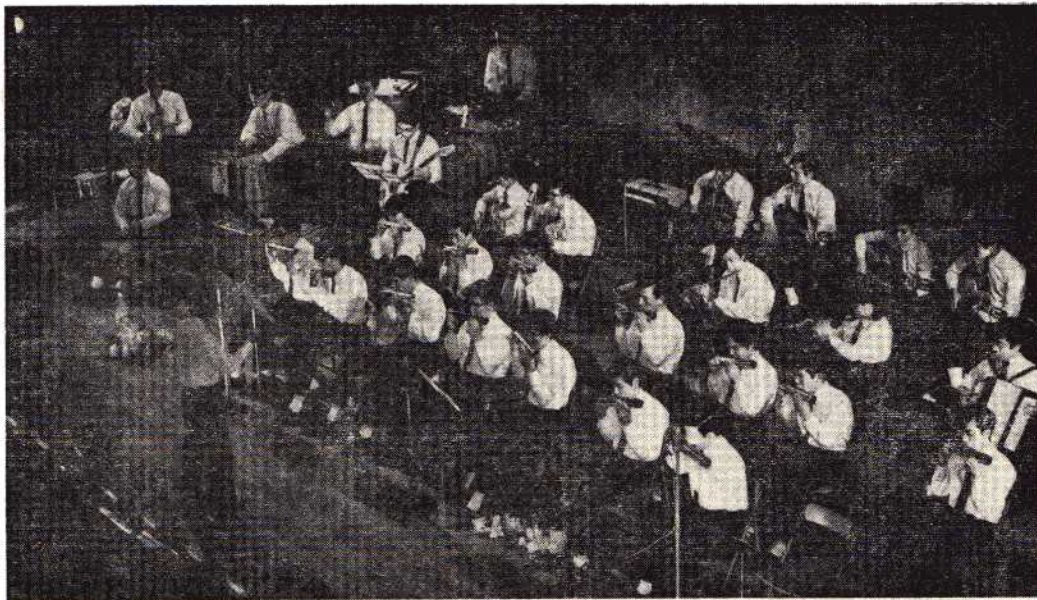
早稲田大学ハーモニカ・ソサエティ

第79回の定期演奏会を開催するにあたり、明治大学ハーモニカ・ソサエティの日頃の研究心に富んだ練習と、努力の成果をわれわれハーモニカ音楽を愛する仲間として、一緒に楽しみたいと思います。年々厳しさを加える学生運動のために練習も自由にできなかったことは、明治大学も例外ではなく、今日の演奏にも大きく影響していることと考えます。この揺れ動く学生運動の中心において、明大ハーモニカ・ソサエティは今何をするのが最上の生き方であるかを理解し、毎日の練習を推し進めていったことに對し、われわれは深い尊敬の念を起す。

これからも全日本学生ハーモニカ連盟の一員として、大きく成長してゆかれることを願ってやみません。

今回の定期演奏会の成功を確信しております。

中央大学リード・オーケストラ



秋深まりゆく今宵、ここ神田共立講堂におきまして第79回定期演奏会を迎えますことは、私共部員一同大きな喜びとするところであります。わが明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、大正8年に創立され翌年10月28日に神田YMCAホールにおいて、第1回発表会を催し、以来50年を経過し、さらに100年の未来に向かって歩み続けています。

さて今宵は第1部にクラシック音楽、第2部にムード音楽を特集し、第3部にはラテン軽音楽を集めまして、皆様と共に楽しいひとときを過ごしていきたいと思ひます。未熟ではございますが、私共の演奏が少しでも皆様方にお楽しみいただければ幸ひと思ひます。

最後にこの演奏会のために賛助出演して下さいました、ビリー・バンパンの御二人、ならびに会場整理に当たって下さいました実務珠算部の方々、そしてご多忙にも拘らずご来場下さいました皆様方に心からお礼申し上げます。

明治大学ハーモニカ・ソサエティー部員一同

枯葉、枯葉、枯葉……………。秋風に乗って最後の円舞曲を舞っていました。暮れて行く秋、何かを感じさせてくれる秋、私はそんな秋が好きだ。

第79回定期演奏会お目出度うございます。私達同じ音楽を研究する仲間として喜びにたえません。貴クラブの奏でるハーモニカはマドンナの宝石のごとく、そして夜空に輝く秋の星座にも似た哀愁で私達を満たしてくれる事でしょう。

明治大学マンドリンクラブ

明治大学ハーモニカ・ソサエティーの歴史

- | | |
|-------|---|
| 大正7年 | 佐藤時太郎氏を中心にハーモニカ・ソサエティー結成される。
(ハーモニカバンドとして日本で最初に結成される。) |
| 大正8年 | 小石川植物園においてわが国で最初の合奏が行なわれる。 |
| 大正9年 | わが国ハーモニカ界の元老川口章吾氏を迎え指導育成を受ける。
第1回発表演奏会(神田YMCAホール) |
| 大正12年 | 当ソサエティーの幹部鈴木重吉氏の尽力により、明治大学校歌ができる。
アメリカ遠征の計画があったが、関東大震災のため中止。
北海道、四国、九州、朝鮮、台湾、満洲に演奏旅行。 |
| 大正13年 | 半音ハーモニカを併用し、序曲歌曲などに手を染め始める。 |
| 大正14年 | NHKにおいてラジオ放送(開局記念。) |
| 大正15年 | ハーモニカによる交響曲の演奏を日本で最初に試みる。 |
| 昭和3年 | 大田黒敏男初代部長就任。上海演奏旅行。 |
| 昭和4年 | 創立10周年記念演奏会(日比谷公会堂。) |
| 昭和5年 | 当ソサエティーの主唱により学生ハーモニカ連盟を結成し、毎年コンクールを開催。 |
| 昭和7年 | 佐伯好郎部長就任。 |
| 昭和8年 | 林久吉部長就任。アコーディオン・ギターが加わる。 |
| 昭和18年 | 戦前最後の演奏会となる。(第43回 記念館ホール) |
| 昭和23年 | 戦後最初の演奏会開催。(記念館ホール) |
| 昭和37年 | ラテン・リズム楽器をとり入れ、ラテン、軽音楽を手がける。 |
| 昭和39年 | 従来の復音ハーモニカを全廃し、シングルハーモニカを使用。
創立45周年記念演奏会(神田共立講堂。) |
| 昭和41年 | 北島忠男部長就任。 |
| 昭和44年 | 創立50周年記念演奏会(第77回 神田共立講堂。) |
| 昭和45年 | 第79回定期演奏会(神田共立講堂。) |

Member

Majer • H

- 1st. 成瀬 友章(法3) 山本 裕之(政3) 松藤 広美(政2) 藤田 敏雄(営4)
磯野 雅子(文4)
- 2nd. 柴田 直樹(営1) 原 恒栄(商1) 三田 茂夫(文1) 大越 聖子(法1)
大谷すが子(法1)

Alt • H

- 1st. 菅野 裕樹(営2) 村上 栄作(政2) 井波 徹(営4)
- 2nd. 川田 勝久(商1) 佐藤 勝美(工1) 藤森 伸朗(政1) 鈴木 昭二(商4)

Alt • Horn

- 後藤 衛(文2) 長山 義信(政1)

Soprano • H

- 山田 司知(商1)

Accodion

- 服部 峰雄(法1) 阿部美枝子(文1) 竹下 信之(商4)

Flute

- 須田 正行(工1) 松田ひろみ(文1)

Clarinet

- 田中 耕蔵(営2) 堤 幸千代(商2)

EL • Guiter

- 石山 仁(法3)

Gut • Guiter

- 中沢 保(営2) 田中 良明(商2) 田中 義和(営2) 飛田 隆(法2)
早川 豊明(商2) 梅田 英雄(政1) 菊地 孝(政1) 高槌 和行(政1)
矢吹 孝(商1) 渡辺 智(営1) 住田百合子(文1) 藤村加代子(文1)
東 敏夫(商4) 尾藤 祥平(営4) 若林 信一(商4)

Vid

- 渋谷 勝美(文2)

Bass

- 越坂 義明(法1)

Percussion

- 三平 光幸(商2) 田中 良明(商2) 田中 義和(営2) 飛田 隆(法2)
早川 豊明(商2)

Piano

- 塩野 賢治(文2)

Conductor

- 金藤 尚文(商3)

M • C

- 塩坂 治孝(営3)

Program

1部 CLASSIC

司会 塩坂治孝

1. スラブ行進曲〔作品31〕

作曲 チャイコフスキー
編曲 金藤尚文
指揮 金藤尚文

この曲は19世紀末に、トルコの支配下から独立しようとしたバルカン諸民族の独立援助を目的として催された大音楽会の為に、チャイコフスキーが作曲したものである。彼はこの当時ロシア社会の気分に完全に同情をよせていた。

それゆえ初演の指揮者であったニコライ・ルービンシテインからの作曲の申し出を喜んで引受け、情熱を持って仕事に着手した。初演は1876年11月5日、モスクワで、ロシア音楽協会第一回交響楽演奏会で行なわれた。この演奏会は多大な成功を収め、行進曲は再演するほかなかったと言われている。

この曲の中には、ロシア全体を支配していた当時の気分が、異常な迫真力をもって描き出され、あたかも完全な勝利を予言するかの様である。言うまでもなく、この曲は一種の序曲の形をとる一楽章の曲であり、セルビア民謡から取材したと思われるいくつかの主題に、ロシア国歌を配して組立てられた簡単な形式の曲である。

2. 交響曲第8番 短調 (未完成交響曲)

作曲 シューベルト
編曲 鈴木昭二
指揮 鈴木昭二

この曲は、たんにシューベルトの不朽の傑作であるばかりでなく、交響曲の中にあってシューベルトの名前を永遠に記憶させる名曲である。

<未完成>と言うロマンティックな名前、そしてため息のように次々とあふれてくるエレガントな情緒とロマンティックな哀感あふれるメロディの数々、それゆえに、なぜ未完成に終わったかという点について、古来より様々な憶測がなされてきた。結局の所は、二つの楽章があまりにも美しすぎるために、さすがのシューベルトも先が続かなかったとみるべきであるろう。

シューベルトの死後37年たった1865年、ウィーン音楽協会管弦楽団の指揮者ヘルベックが埋もれていた<未完成交響曲>を発見し初演した。それ以来、たちまちにして人々の心をとらえ、音楽の世界になくはならぬ名曲となってしまった。

溢れる名曲 落ち着いた優雅な雰囲気

団体予約お受け致します



珈琲
名曲

五城

(旧名 らんぶる)

- 年中無休
- 営業時間 A.M. 9:00 ~ P.M. 10:30
- サービス・タイム A.M. 9:00 ~ P.M. 1:00
- 神田神保町1-16 TEL (293) 4851 (代)



Program

2部 IN THE MOOD

司会 若林 信一

ロミオとジュリエット

慕 情

ラ・ノビア

ボーン
フリー



